

生活のきまり検討について

陽北中学生徒指導だより NO.7でお知らせした通り、陽北中生活のきまりについて中央委員会を中心に検討を行いました。（今回は、生徒から意見が多かった髪型とくつ下を中心に。）その後、中央委員会で決定した内容について、教員による会議等でも改めて検討をしました。そして今日の朝、前期生徒会執行部から生徒全員に向けて、今回の検討内容の最終決定したものについて、生徒用パソコンを使いながら説明を行いました。

今回の変更内容は以下のような内容になりました。

【 今回、中央委員会で検討され、決定した内容について 】

検討については、「身だしなみを整える」という観点をもとに決定していきました。

「頭髪・くつ下について」…以下の内容は今後完全実施していく内容です。

- ① 前髪の長さは、自然な髪形をした時に目より上であること。
- ② 男子は耳の穴にかからないような長さ・耳を完全におおわないような長さ。
女子は、髪型にもよるができるだけ男子の基準と同じようにする。
- ③ 髪の毛で「白髪が目立つ」や、「明るい色でコンプレックスがある」等で困っている人は、保護者の同意を得た後に、本人が教員に申し出て、校長先生の承認を得た後に黒い色（またはその人に適する学校生活に支障のない色）に染めることは許可される。
- ④ 女子のカリアゲを認める。
- ⑤ ツーフロックは、認める。ただし、男女とも「髪の毛トップとサイド（バック）の長さの差が極端なもの（変形の髪形に間違えられるようなもの）」は認めない。
- ⑥ 「触角（前髪の端の部分をやと垂らす）」は、認めない。
- ⑦ 「ハーフアップ」については、髪が肩の長さより長くないことを条件に認める。髪の束をひっくり返したりはしない。
- ⑧ 「ポニーテール」「お団子」「ハーフアップ」を結ぶ及び束ねる位置や場所は、「後頭部中央で耳のトップより下の位置」とする。
- ⑨ ヘアピンのきまりをヘアゴムと同じように「飾りのない黒・紺・茶」のものにする。
- ⑩ くつ下に関しては、現行の「無地の白くつ下（ワンポイント可）」で特に問題はないのでそのままよいとなった。
→長さの基準として、動いている時にくるぶし上部が見えない長さから膝下までとする。
ワンポイントの解釈は、「左右両面に同じポイントが2か所ある場合でも可」とする。

また、中央委員による検討会で大きく意見が分かれたものについては、いきなり完全実施するのが難しいものもあるので、「運用試験期間」を用いて、そこで出た課題を改めて中央委員会で検討してから、完全実施する流れとなりました。それが、以下の内容になります。

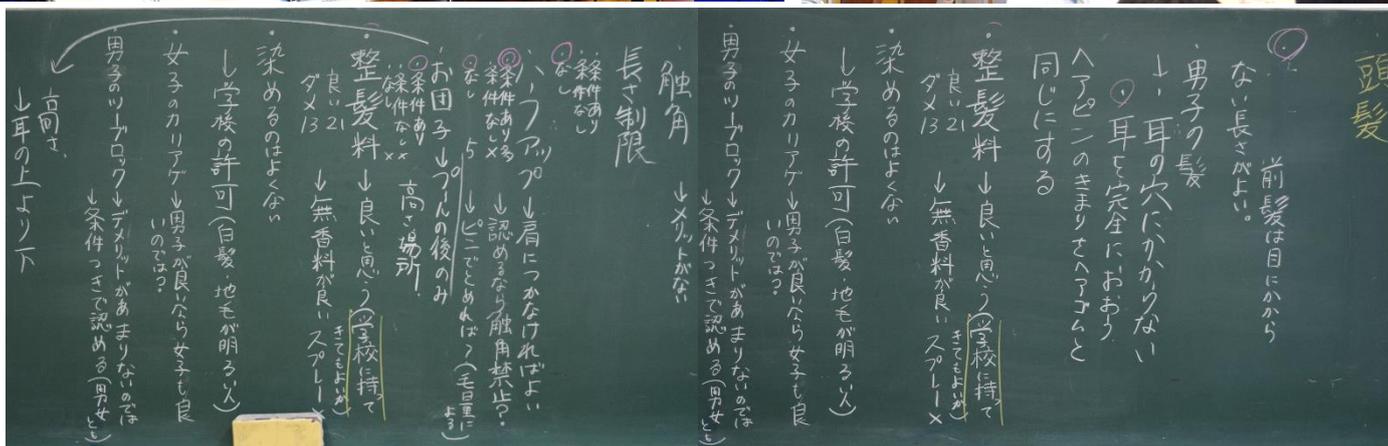
① 髪の毛を「かっこつけ」でセットするのではなく、くせ毛や寝ぐせなどを直す(あるいは抑える)ために髪の毛に整髪料をつけることを認める。ただし、その整髪料は「無色・無香料」「ツヤ・テカリのないもの」で、「髪型を固める(バリバリに髪の毛が固まっている状態)ためでないもの」とする。また「あらかじめ家で付ける」「フールの時は水が汚れてしまうので付けてこない」とする。

② オシャレな髪形にするためではなく、髪の毛をまとめるために「お団子」にすることは認める。基本は朝からお団子にしておくこと。

ただし、フールの時期は、フール後にまとめることも認める。ただし、その際に「授業に遅れない。」「他人が不快になるような方法をとらない。」「床や鏡の前など落ちた髪の毛をしっかり処理する。」「守るようになる。」

今回の生活のきまりの検討については、昨年度の卒業期の服装・頭髪確認を生徒同士で実施したことが始まりとなりました。その後、生徒全員と教員にアンケートをとり、集計した結果、頭髪やくつ下についての質問や要望、「基準やきまりをはっきりしてほしい」という意見が多くあったことから、生徒と教員による生活のきまり検討会を開くことを生徒指導部から提案をしました。

今年の6月に、生活委員会の活動で、生活のきまり(頭髪・くつ下の内容を中心としたもの)に関する生徒の意見の吸い上げを全校生徒対象で行いました。その際に集まった意見を生徒会執行部と教員の生徒指導部で共有し、9月(本来は、夏休み明けに予定していたのですが、緊急事態宣言により9月となりました。)に中央委員会で内容の検討を始めました。執行部のみ集まったものも含めると、数回にわたっての長時間の検討となりました。



本校の校訓でもある「聡く 強く 美しく」を念頭に置きながら、「身だしなみを整える」という観点を基本にして中央委員会で決定した内容は、教員による会議でも尊重され、スムーズに決定しました。中央委員会での話し合いは、本当に内容の濃いもので、「〇〇〇だから必要がないのでは?」「△△△の理由で変更すべきだと思います。」など、しっかりと理論立てられた建設的な話し合いが進められました。その話し合いのレベルの高さから、本校の生徒会活動の活発さ、そして素晴らしさを感じることができました。今回の検討に関して中心になって進めてくれた生活委員の皆さん、中央委員会の皆さん、ありがとうございました。

今回の検討会で改定した内容を含め、生活のきまりを陽北中生みんなで守っていけるように、生徒同士が互いに声を掛け合って、自分たちで確認したり、修正していったりしてほしいと思います。